

## 営業を経験し「スポーツだけしかやってこなかった」 自分が不利ではなく、強みであることが分かった

### 参加のきっかけ：

小さいころから好きなスポーツを続けてきました。選手としてスポーツをするだけでなくトレーナーや指導者の仕事にも興味があり、大学ではスポーツ健康科学科を選び、スポーツコーチング論や指導論、栄養学やスポーツ心理学に興味を持って取り組みました。大学3年の夏に盛岡市内のスポーツジムの職場訪問をしました。でももう少し就職活動の視野を少し広げようと考えた際、営業職もいかなと思うようになり、いわてUターンサポートデスクに登録し、県内企業での営業職のインターンシップに参加しました。

### 参加してみて：

一番驚いたのは「職場がフラットだった」ということです。それはフロアのデスクのレイアウトなどの職場環境だけでなく、上司と部下とのコミュニケーションや人間関係についてもあてはまっていました。普通の仕事のやり取りではあまり上下関係などが感じられず、本当にフラットな職場だと感じました。また、立って会議をする机や、作業に集中するとき専用を使うデスクなどがあり、社員の働きやすさをとても大切にしていることが分かりました。高校を卒業して就職した友人たちは「仕事はつらいし、きつい」という話をするので、働くことにネガティブなイメージを持っていました。ですがインターンシップで体験した会社はそれぞれが自分の働きやすいよう工夫しており「そのような企業もあるんだ」と知り、働くことに対するイメージが変わりました。また営業の現場を経験した一番の成果は、スポーツだけしかやってこなかった自分の経験は「不利」ではなく、コミュニケーション力やあいさつ、メンタル的な強さにつながっていると分かったことです。

### voice: サポートデスク スタッフから

澤さんは、スポーツが好きで大学はスポーツをする方々を支えることを学ぶ学科に進学しました。スポーツトレーナーを視野に職場訪問するなどしましたが、就職活動の視野を広げようこちらのデスクにご登録いただき、営業職でのインターンシップを希望し今回の体験が実現しました。営業現場での体験がもたらした新たな気づきも多かったようで、スポーツの経験が就活では「不利」ではなく「強み」になることが体感でき、素晴らしいインターンシップになったようです。受け入れた会社は、「いわて働き方改革award」の受賞企業です。働きやすい職場についても体験でき、企業選びの視点も広がったと確信しています。

### 体験したのは！

澤 <sup>しゅうた</sup> 汰さん

(八幡平市出身)

福井工業大学スポーツ健康科学部  
スポーツ健康科学科

在学中にスポーツトレーナーの勉強をするため1カ月米国に短期留学しました。短期留学には大学の許可が必要で、自ら留学先と連絡を取り、ビザや航空券なども手配し、留学計画が認められ実現しました。現地でも積極的に学び、充実した留学生活でした。

### 実施プログラム！

#### 営業現場を体験できる会社で3日間のプログラム

#### 実習先：リコージャパン株式会社岩手支社 (卸売・小売業)

所在地：盛岡市本宮3-36-45

事業内容：デジタル複合機などのドキュメント領域からITサービスやコミュニケーション領域までの商品やサービスのワンストップでの提供

#### 実施プログラムの主な内容（3日間）

- ・会社や事業の説明
- ・営業社員とメンテナンス活動社員の仕事への同行
- ・先輩社員との懇談
- ・インターンシップ参加のまとめと発表